

「震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業」開催要項

（～ジャーナリストスクール開催事業～）

- 1 事業目的 未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において復旧・復興のために活躍している個人、団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材をし、新聞記者等の指導を受けながら新聞にまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考える機会とする。
- 2 主 催 福島県 ふくしまの学び実行委員会
- 3 共 催 郡山市教育委員会
- 4 特別協力 福島民報社 福島民友新聞社
- 5 後 援 福島県教育委員会 福島県小中学校長会 福島県PTA連合会
- 6 日時・会場
事業内容等
令和7年8月7日（木）【開校式】東日本大震災・原子力災害伝承館
〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39
TEL：0240-23-4402 FAX：0240-23-4403
＜郡山駅東口発着バス利用可能＞
◇池上彰氏からのビデオメッセージ
【取材】※相双地区
◇地域での取材
令和7年8月10日（日）【新聞作成】郡山市青少年会館 1泊2日
～11日（月祝）〒963-0201 福島県郡山市大槻町字漆棒 82
TEL：024-961-8282 FAX：024-961-1380
◇新聞の基礎知識の学習
◇記事おこし
◇新聞編集・印刷
令和7年8月16日（土）【交流会・発表会・閉校式】郡山市市民交流プラザ（ビッグアイ）
〒963-8002 福島県郡山市駅前2丁目11番1号
TEL：024-922-5544 FAX：024-935-8792
◇子どもたちによる新聞の発表
◇池上彰氏との交流
◇講話
＜特別講師＞ジャーナリスト・教授 池上 彰 氏
＜講 師＞福島県立相馬高等学校 講師 武内 義明 氏
福島民報社・福島民友新聞社の記者等
※本事業の卒業生によるサポート
- 7 取材対象 復旧・復興に向け邁進している団体及び個人（別紙「取材先候補」）
- 8 受講者 県内の小学校5年生から高校生まで
※4日間の講座については、全日参加が原則であり、保護者の同意が必要
《受講人数》 30名
《受講者選考》 受講者申込多数の場合は、どのような事を学びたいか、どんな新聞を作りたいかを受講申込書に明記させ、それを基に書類審査を行い、決定する。
《受講料》
9 申込方法 小学生 （5,000）円 中・高校生 （5,400）円（食事、ドリンク代等）
10 発表会参観者 別紙チラシ等のとおり
250名程度を募集し、申込順で受け付ける。

【取材先】

- ・一般社団法人ふたばプロジェクト
- ・中間貯蔵事業情報センター
- ・JAEA ANALYSIS LAB.
- ・福島水素エネルギー研究フィールド
- ・とみおかアーカイブミュージアム
- ・とみおかワイナリー